



令和4年5月30日

報道機関 各位

千曲川の恵みについて考える講座

「魚類の多様な生息地の利用とその分断化」について

河川・湖沼に住む淡水魚類は、異なる環境を状況に応じて利用して生きています。例えば、ある種の淡水魚が繁殖期には成魚が普段利用しないような流れが緩く暖かい小さな河川や水路に移動して産卵を行うことはよく知られています。

今回は、諏訪湖-流入河川-水田水路を生息地とするフナ類の生活史をご紹介します。

諏訪湖では周辺の水田地帯における稲作による生息地の接続と分断化が、魚類の移動・分散のパターンと密接に関連しています。また、河川においても、本流や支流・水路を魚類が容易に移動できることが重要であると考えられますが、これからの研究調査の取り組みの方向性についてご紹介し、会場の皆様と身近な千曲川の自然についても共に考えてみたいと思います。

講座の告知および当日の取材をよろしくお願い申し上げます。

千曲川の恵みについて考える講座

「魚類の多様な生息地の利用とその分断化」

- ・日 時：令和4年6月5日（日）13時30分～15時まで（受付開始13時）
- ・場 所：中央公民館 3階 大会議室
- ・講 師：箱山 洋 先生（長野大学淡水生物学研究所 所長/教授）
- ・定 員：先着70名
- ・受講料：無料、どなたでも、参加できます。
- ・申込方法 参加希望の方は、中央公民館までお電話にてお申し込みください。

問合せ先：上田中央公民館 館長 星野 陽一

0268-22-0760